



# みはらふくし情報

## 1月号

平成27(2015)年

1月1日発行

### — 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599

本郷地域センター(三原市本郷福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064

久井地域センター(三原市久井保健福祉センター)電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011

大和地域センター(三原市大和保健福祉センター)電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

社協では、地域福祉活動を住民のみなさんと共に進めています。その方法は、サロン活動や見守り活動、地域内でのボランティア活動など多岐にわたります。今回は、常設サロンを運営し、広島県社協指定事業「小地域のお茶の間づくり」事業を受け、先駆的な活動に取り組む三原・大和の常設サロンをご紹介します。

## 末広がいなダイヤサロンを目指して

～沼田東町ダイヤハイツ 常設サロンの取り組み～ **三原地域センター**

沼田東町末広ダイヤハイツの常設サロン「ダイヤサロン」は住民約50名の世話人により、月～金曜日に開設されています。

昨年11月に自治会と住民のみなさんの協力でオープンし、毎日平均18名の住民が集い、お茶を飲みつつ日常のことを話したり、囲碁を楽しんだり、パソコン作業をされたりと自由に過ごされています。

取材に伺った日は、男性の世話人さんが当番の日で、囲碁を楽しみながら世間話が盛り上がっていました。来られていた方は「その日の当番によって、来る人の顔ぶれが違うんじゃない」と笑顔で教えて下さいました。多くの方が当番にあたることで、知った人が当番の日には行きやすく多くの方が寄りやすい面もありますが、反面では知らない人が当番の日には、入りにくいと感じる方もいらっしゃるようです。



写真：団地の中央に位置するダイヤサロン

オープンから1年が経過し、活動を振り返る中で、「もっと多くの人に来てもらいたいためにどうすればよいだろうか？」や「サロンの運営だけでなく地域内の困りごとを把握しては？」との意見から、自治会の協力を得て、アンケートが実施されました。アンケートは団地内全戸に呼びかけられ、多くの意見が寄せられているようです。

1年間の振り返りとアンケート結果について、世話人間で共有するとともに、今後の活動の意見交換のため1月下旬に世話人交流会の開催も計画されています。

サロン活動の充実と地域の困りごとに対して、住民同士でお手伝いするボランティア体制づくりについて、今後協議が進んでいく見込みです。

1周年を迎え、運営が順調に進むダイヤサロン。住民同士で助け合う地域福祉活動が地名である末広のように“末”ながく“広”がるよう、社協も住民のみなさんと一緒に考えて、安心して暮らすことのできる地域づくりを進めていきます。



写真：ソファがあり、作品展示もあるあたたかい雰囲気です。

# 地域の子ども達と凧づくりに挑戦！！

～ 常設サロン ひよりやくわなし 6周年 ～ 大和地域センター

12月7日(日), この季節にしては暖かい晴天の下, 「常設サロンひよりやくわなし」では開設6周年記念行事が行われました。

この日は多くの方々に来ていただき, 大盛況です。自宅で採れた新鮮野菜の市をはじめ, サロン活動で行われている絵手紙やそば打ちなどの体験会に加え, 地域の子ども達を招いての凧づくりなど様々な催しが行われました。

凧づくりに30名を超える子ども達が参加し, 住民ボランティアの方々と一緒に製作しました。ボランティアの描いた素敵なイラストに子ども達は目を輝かせていました。



写真: 多くの方々が集いました



写真: 元気に凧上げをする子ども達

凧が完成した後は近くの田んぼ道で早速凧上げです。天高く舞う凧に子ども達も満面の笑顔を見せてくれました。当日は, ボランティアの方々の手作りのお昼食も用意され, 子ども達も大喜びでした。

榎梨<sup>くわなし</sup>地域では, 安心して住み続けることができる地域であるために, ひとりひとりにどんなことができるのかを考えながら「常設サロンひよりやくわなし」は6周年を迎えました。

これからも住民が参加する地域福祉の拠点として, 住民の方々の取り組みは続いていきます。

## お役立ち情報 寒さ厳しい時季です 手袋やマフラーで身体を守りましょう!

脳卒中や狭心症の引き金になる急激な温度差に気をつけましょう。

1. 外出の際は, 室内にいるうちにマフラーを首に巻きましょう。  
外に出て寒さを感じてからでは, 身体が温まるまでに時間がかかるため, 体が温かいうちにマフラーを着用しましょう。
2. 転倒防止のためにも手袋で防寒しましょう。  
寒さで身体が硬くなっているため, ちょっとのことでつまづき転倒することがあります。  
転倒時, 手が自然と前に出てクッションの役割をし, 顔や頭を強打から守ってくれます。



参考文献: 元気一番 笑顔あふれる毎日  
”冬の知っトク情報”